



片歌残の玉藻

中村俊定文庫
文庫 18
420



片歌残の玉藻

中村俊定文庫

文庫 18

420

四三〇

以
ふ
の
あ
も



おのゝ十はぶを
 十はぶの序歌は
 子とあやむ理か
 りとあゝさちち
 しとあゝさちち
 撮本にさしは
 あつさぬの海は



路のやーはちね潮の海す海
うらうら

みさちうへはちねかこり

つくとまふふふふふふ

にそ

明和ふ乙酉の夏

東地ふん

片歌磯坊玉藻

十歌



立喜

柳

かりづ

文夜

牡丹

好は

板生

をが

あ月

志が

二九部

喜ぶのや水の底に光くあや 江戸 金谷

翠帳の夏あそびの牡丹 全

葦の池に帰舟や放生 全

青柳や恋しき間 李趙

日の中に鳥の聲よく放生 全

おしきふ梢に虫をまき 左江

雁はさしゆし又し放生 上毛高寄 一紅

徳園の麻の細し 同前橋 麥汀

そよぶは不残ともんを放生 去帆

断 キツ、キ 亦まは是にほや放生 江戸 右國

池のまはかど ヨ びゆ 上毛高寄 分江

アケ アケ 舞 同 たりやそのや神 高根 去 雁 平

メテ メテ 園 江戸 去 乙 河

かろしやまはなはらるるり 杖生と云 江戸 桃林

まふゆい物やどぶの月 全

あつらひくまふらひもや水 ミツルルニ武 西羊

船と云で舟つく乳母や文 全

やりくはた目をおろも ヲハナ 焮午 江戸

さ枝に考くまふ柳、か、百卉

水みじぐ フミ 靴まともや 路の尻 全

トウロウ 石地を消して 寄る新柳 上毛前橋 平胡

引く来はき吹くけく 地は 武青梅 洗雪

糸つけやに 船じ 杖生と云 全

そは水吸ふふを侍志 江戸 東彦

懐へ入はき 上毛前橋 杖生と云 活十

地はや相の葉へ 文中

おに傘はして 釘金と云 全

小前志をきりてえぞ牡丹小 上毛小泉 素兄

菘菜丈の根をて行く志 武寄居 久江

志をゆぎるにも入るもその月 上毛豊岡 意山

隅 スミ も秋の出るまほかり 江戸 羣牛

あせと素れ行く ヤドリキ 玉負

素山子とあぬいし 上毛前橋 素七

後世の唐い 送蹄

はげ先にい内も 武村岡 圭路

あやうへ オカ 桐蝶 江戸

まをちや 李喬

か イナゴ 一音 上毛妙義山

根に月 ヲダナ 総九 江戸

岸の 古扇

毎日 大坂 一鼠

梢く桂の昇ふやうさうら 上毛桐生 東市

雲でまげなくえきしゆ志ふ 加賀金澤 秋楳

まびーは小塔勅くしむの 上毛藤岡 里楳

くしふ本に若やむきむ 關夫

一九の部

吹ぬ日も柳ふきの勅さうら 江戸 金谷

きの月松れ楳に新あさうら 全

を山に候ふるま コメ や油く 全

まむくま コメ の山 コメ や 全 李趙

月下し抄く 全

原 全

ま 全 左江

一 全

ま 全

^{イカグリ}毛栗を投す栲や沖あらし 全

水底に秀形見えぬ杖きしき 菊人

よき証のわらしひ異をむかひ 全

そは目をまじり短くまじりまじり 全

深貯り縁にまじりやまじり 全 ^{上毛高寄} 一紅

まきて月足は不破のまじり 全

^{ツルベ}汲桶くくくくくくくくくく 同前橋 麥汀

夏菊のかさひちぢぢぢぢぢぢ 全

^{ウエトヤ}種樹の都とくくく牡丹水 全

まじりておれまじりぬくまじり 去帆

^{ヤニブキ}金槌棠にとつてもおれかり 江戸 右國

おれや神まじりい時にぬく 全

いぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ 上毛高寄 分江

そと先くはれおれおれおれ 同高根 雁平

招くはく夕日のいそぎをまがう那 江戸 全

このひさしくよと実さるる故生 江戸 乙河

まうらやもく梅も故一細い 武村岡 圭路

不稔も橘シとつうりぬやる紀うか 全

押おたに建のぬすふぼたん 武埴西 西羊

歌のおほゆふかまや一あは月 江戸 秋午

禽れよのせはくしうははあくふ 全

物下の物うをうくとは能 上毛前橋 平胡

巾の月うよく一やに限る 全

海はやあはさおんく草はく 素輪

鳴く事家方ハ招くぬをさか 全

井は底に香がたりしや 江戸 東彦

江サエはやど海の原さよあ 全

呼べど事ぬ素山子に 上毛前橋 九 汎

水へ事ぞゆへも入るるぞや此月 全

下総佐原

色はぬぬ池ふたへもあはれ月 佐幸

江戸

清くやうに茶の席がながらんか 東起

硝子に月入るるぞや 全

上毛前橋

とるもあはれ柳へ事ぞや 過江

うす水のよもみもあはれ月 全

麻道々しくぬもあはれやうさな 不霜

小松まご搜しとる家あはれ水う那 江戸 楚岫

あはれ月日のあはれあはれさうやく 其梅

清くもぬもあはれ月 全

上毛前橋

空にやう川へ事ぞや 星露

あはれ月も今かあはれあはれ月 吹雁

武埜西

飛とるもあはれ月 祇翠

あはれ月のあはれあはれ月 全

一トのては、葉のくくはほくんとく、以秀

あくくくは、あきやあき月 全

抄へは、あきむぐあくやあきさく 吐雲

鳥の形もくくしてあきをくくく 全

あきあきあきあきあきあきあき 宇冲

あきあきあきあきあきあきあき 全

あきあきあきあきあきあきあき 江戸 山樂

あきあきあきあきあきあきあき 全

あきあきあきあきあきあきあき 上毛前橋 雞口

あきあきあきあきあきあきあき 全

あきあきあきあきあきあきあき 輕舟

あきあきあきあきあきあきあき 笑洲

あきあきあきあきあきあきあき 武青梅 綾衣

あきあきあきあきあきあきあき 市仙

成りキ 霞の舌より指しく坂の江 既醉

雨一衣多柳して雨にまら 斗光

身塚の苔沈るうあはれう歩 指鳳

消強に橋しけ車ひまぐれ水 素因

まきふらやうらひを尻よえゆき 銚井

堂中以習し 煥くおせとち 可笑

まきふらやうらひを尻よえゆき 牛子

下総八日市場

同 燕里

信州 松本

上毛 前橋

はな積り松も木陰やむらさき 江戸 五溪

まきふら日いして曙よりと影のあ 可卿

検校の参りまきみは牡丹うさ 同志多見 士鳳

二の三の嚏に赤くあろもか 同 町谷 鳥湖

三井まに被るひく日や文衣 上毛 前橋 燕山

枕ふに小松を掘むやうささ 武青 梅 鴉路

まきふらやうらひを尻よえゆき 呼友

柳カハナチりく 橋カハナチも 夜カハナチを ありも 登江

主カハナチ 登江に 松カハナチの 歌カハナチ ありも 眠石

まカハナチ 柳カハナチの 柳カハナチ 柳カハナチの ついて 梅考

押メジロ 命メジロ あり 満メジロ あり 柳メジロ あり 度江

後フリガキ も あり 柳フリガキ あり 柳フリガキ あり 黄牛

海フリガキ あり あり 世フリガキ の 歌フリガキ あり 五綾

多フリガキ あり あり あり あり あり 玉斧

秋イナヅミ 岡イナヅミの あり あり あり あり あり 上毛高寄 麥舟

後ウシロ あり あり あり あり あり 同前橋 里松

郊ウシロ の あり あり あり あり あり 一素

町ウシロ に あり あり あり あり あり 梅里

志ウシロ あり あり あり あり あり 江戸 和翠

斜ウシロ 竈ウシロ あり あり あり あり あり 武埼西 古由

画エドコロ 工エドコロ あり あり あり あり あり 同志多見 里郷

望みよしおきむらじきむら月

近江日野 千兆

浪中や波のまじはきさうじ

上毛相生 女里泉

生歌の句切もそいぬかりのうを

仙瑟 中山道大宮

まが崎崎(那)のゆのほ

江戸 涼二

のうはまのうし神しん

下総八市場 女扇

橋本に山ありて先づぬゆはつを

同燕里 松菊

しんを氣にさへまほてつあもつ

上毛前橋 加雞

指麻もすてきくや誰かほ、花町

まきとのや^{ドコ}伝まの旭もねまろいげ、麦兄

あのをま^カ物りさばるる海のは、美白

釣船に^{イカリ}灯をおろしんがらんか、紗石

んりふくか物さそよの月、江戸 得往

行く船にほろくは待物うか、喜調

しん^カうは^カあすり海はほ、江戸 台澤

下毛佐野 港水

長眉

江戸 士川

巴狂

才蝶

素明

同新町

同福島

香湊

吾一九の二百云々

鬘位

勝 金谷 十九鬘

二 李趙 十八、

三 左江 十六、

下毛佐野

江戸

上毛藤岡

奥州兼折 可貞

神池に月如影けりて故生し云

吾一九の二百云々

勝 金谷

二 李趙

三 左江

四 菊人

五 一紅

六 麥汀去帆

七 右國

八 分江雁平乙河

九 圭路桃林西羊 焮午百卉平胡

十五、

十四、

十三、

十二、

十一、

十、

十 素輪洗雪東彦深魚 九、

十一 九汎未了西阜活十 文中走兔

八、

十二 涼宇素兒久江几山 桐蝶 七、

七、

十三 禹貢霍阜川夕舟吕 意山羣牛

玉負素七送蹄扣瓦 佐幸東起

十九

十四
過江不霜為谷楚岫星露吹雁

祇翠以秀吐雲李喬宇冲山巢

一音 總九

五

十五
雞口 輕舟 笑洲 覆雪 綾衣 市仙

東市 既醉 斗光 指鳳 素因 蛙井

可笑 牛子 錦意 匏青 五溪 再長

可卿 士鳳 鳥湖 古扇 一鼠 關夫

十六

燕山 鴉路 呼友 登江 兔木 青湖

四

風五 梅荷 眠石 梅考 杉路 度江

黃牛 才郎 五綾 玉斧 麥舟 里松

一素 竹子 梅里 和翠 采珠 古由

里鄉 汲巴 泉夫 可龍 有志 乙嶽

冠子百枝貉丸

三

^{十七}帶河笑林五石湖石一壺卧阜

桐井兩十三橋鷺十一舟鳥朝

端山計之青戶千兆里泉紫路

佳月仙瑟英裳凉二宗柏如扇

南吕松菊時人雪光堂如雞花町

麥兄乙州松谷之音琴詩笑白

如竹紗石萬郎得往白丈喜調

台澤蓬壺巴魚湛水長眉士川

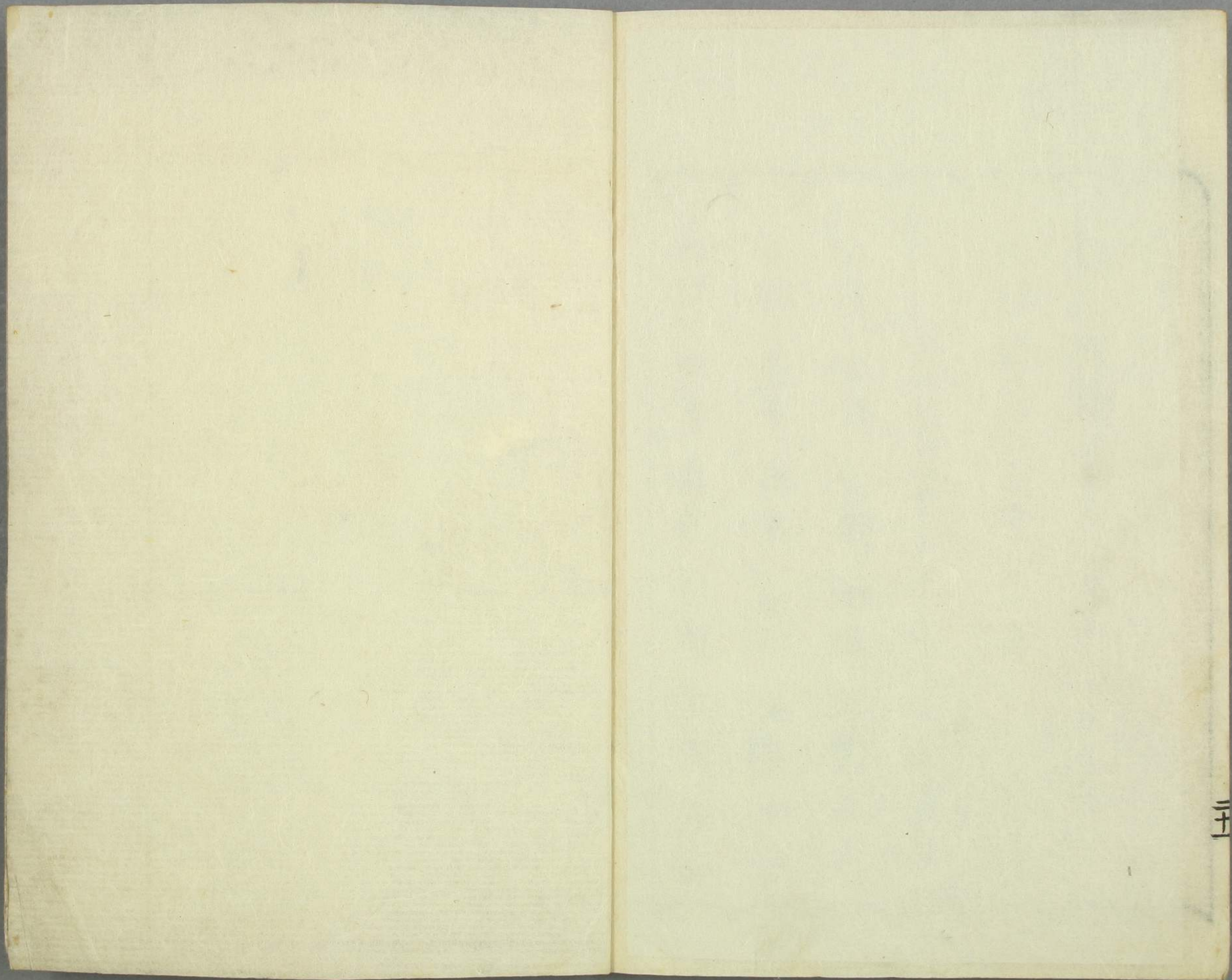
紫藤巴狂才蝶可負吞溟

以下畧之

二

片歌惣數二千七百三十首

詠人物惣數二百七十三人



11

